別紙様式

＜高付加価値型農業の実践を行っている事例＞

○新規作物の導入と獣害対策

１．集落協定の概要

市町村･協定名	愛知県北設楽郡設 楽 町西納庫　川 口Ｂ（きたしたらぐんしたらちょうにしなぐら　かわぐち）			
協 定 面 積 11.4ha	田（100%）	畑	草地	採草放牧地
	水稲・ ﾄｳﾓﾛｺｼ・ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ			
交 付 金 額 205万円	個人配分			68%
	共同取組活動 （32%）	役員手当		4%
		集落会合		2%
		収益向上		17%
		農地等保全マップ		9%
協 定 参 加 者	農業者　19人			

２．集落マスタープランの概要

・将来に渡って現在の農村田園環境を維持していくために、中核的農家への農地集積、定年帰農者を活かした営農体制の整備、老朽化した用排水路の整備等に取組み、ほ場管理の省力化を目指して集落ぐるみでの農地環境の保全を図っていく。

［活　動　内　容］

農業生産活動等

- 農地の耕作・管理（田11.4ha）
  - 個別対応
- 水路・作業道の管理
  ・水路2.2km、年1回
  　清掃、草刈り
  ・道路1.5km、年3回　草刈り
  - 共同取組活動
- 農地法面の定期的な点検
  （年２回及び随時）
  - 共同取組活動

多面的機能増進活

- 周辺林地の下草刈
  （約0.5ha、年1回）
  - 個別対応

農業生産活動の体制整備

- 担い手への農作業の委託
  （集落の認定農業者に収穫作業を1ha委託）
  - 共同取組活動
- 新規作物ﾌﾞﾛｯｺﾘｰの導入
  （当初0a、目標60a、H19実績60a）
  - 共同取組活動

３．取組の経緯及び内容

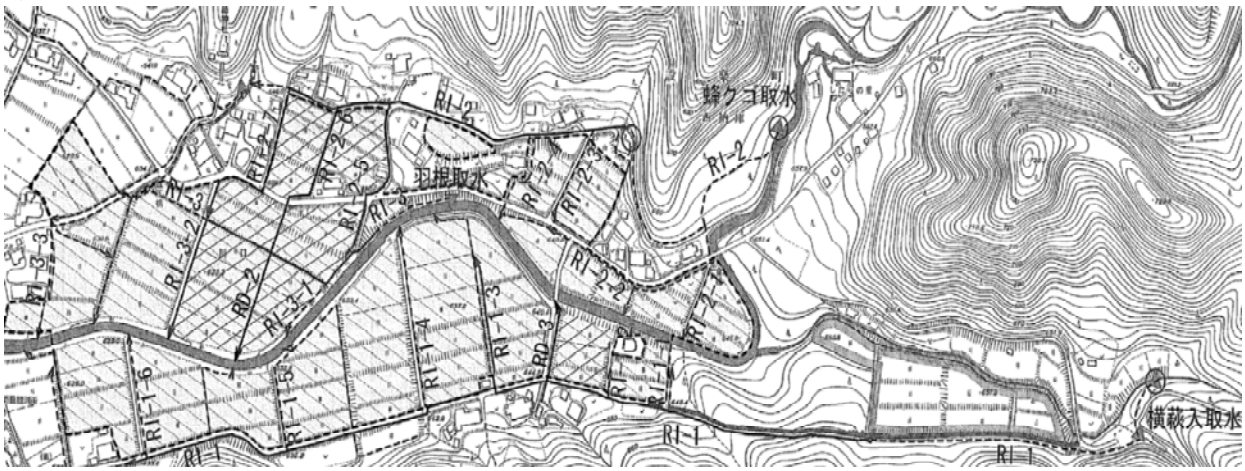
・地域で行う老朽化した農業用用排水路の整備に積極的に協力し、農業生産基盤の更新を図る。

・用排水路・農道等を定期的に点検し、農業生産活動がスムーズに行えるよう、土砂除去、草刈などを実施しそれらの機能の維持に努める。

・トウモロコシとブロッコリーの二毛作を進め、高付加価値型の農業生産を進める。

・協定参加者自ら狩猟免許を取得し、獣害としてもっとも被害の大きいイノシシを、箱ワナにより捕獲する。

○農用地等保全マップ



【マップの解説】

・土砂除去が容易な取水口・用排水路、管理しやすい農道、老朽化した用排水路に整備。用排水路の幅を拡張。草刈り作業の軽減を図る。

猪捕獲のための檻を設置

［平成19年度までの主な効果］

○ 狩猟免許を取得し、猪檻を設置して猪を捕獲（延べ６頭）

○ 新規作物ﾌﾞﾛｯｺﾘｰの導入（当初0a、目標60a、H19実績60a）